

令和2年8月25日

厚生保健委員会

健康福祉部保健環境研究所

PCR検査に要する検査機器購入に係る予算流用について

1 目的

検査機器の導入により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対応可能な検体検査体制を整備するもの。

2 背景

市内におけるクラスター発生に伴い、新型コロナウイルス感染症の検体検査数が増大しており、検査可能数の拡充、検査精度の向上及び職員の負担軽減（自動化）が必要となっている。

3 事業内容

PCR検査時の試薬調整を自動化する検査機器（分注機）の整備

※分注機の整備により、80検体/日→144検体/日に増加

4 予算措置（流用額 19,030千円）

備品購入費 19,030千円

				(千円)
事業名	流用元	現計予算	予算残額	流用額
保健環境研究所 管理運営事業	09旅費 05管外	1,400	1,400	▲ 1,130
	11需用費 05電気料	10,013	7,156	▲ 3,200
	11需用費 35修・備品	2,314	2,267	▲ 1,700
	14使用料及び賃借料 11その他使用	55,094	4,292	▲ 1,000
	15工事請負費 03工事費	30,209	6,009	▲ 6,000
食品残留農薬等検査事業	11需用費 01消耗品	9,575	7,908	▲ 6,000
				(千円)
事業名	流用先	現計予算	予算残額	流用額
保健環境研究所 管理運営事業	18備品購入費 17検査医療機器	6,354	▲ 17,809	19,030
	※予備費 充当済 ¥21,034,000 →検査機器（リアルタイムPCR及び遺伝子抽出装置）購入済			

5 流用について

市内における新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により、対応が必要となったため流用するもの。

なお、流用した金額は、9月議会の補正予算において流用戻しを実施する。